

会場 6-1 【長野県】山ノ内町立山ノ内中学校 発表を見た方からの感想

- 実際に行って見ないとわからないことがたくさんあった、という部分がとても印象に残っています。インターネットなどを見ることで、実際に現場に足を運ばなくても情報が入ってきてしまう今の時代、その現状を分かったつもりになってしまうことが多いです。しっかり環境の現状に対して向き合い、問題を自身たちのものと考えていくことができているととても素敵だと思いました。問題を自身に関係のあるものとしてとらえられることはとても大切なことなので、ぜひ継続して行ってほしいです。
- 身近な自然の中で課題を見つけそれについてしっかりと情報収集をできていたと思いました。しかし、言っている内容が難しいこともあり、多分自分たちの中でもその意味を理解しきれていない部分があるように思いました。自分で理解できていないことを人に説明することはできないのでその点でもっと工夫が必要だと思いました。
- 中学生であるのに拘わらず、沢山の観点から考えていることに感銘を受けました。外来種の悪いところの一面だけを見るのではなく、良いところを探す姿勢にも感動しました。沢山のデータからよりよい生活を考察する姿勢も感動しました。
- 志賀高原の水や動物について、魅力についても詳しく知ることが出来ました。実際に現地に行くことは良い方法だと思いました。地域 A の皆さんはデータを良く分析できていて良かったです。実際の節約できる金額が出ていて良かったです。
- 大学の研修で、実際に志賀高原に行きました。とても自然が豊かな場所で固有種がしっかりと守られている場所だと感じていました。しかし、外来種の駆除など自然保護を大切にしていることで保たれている場所だということを知れて良かったです。二酸化炭素を減少させるために、私たちにできるような小さなことでも大きな効果があることが分かりました。どのくらい減少でき、お金も削減できることを具体的にデータで示していたのでとても分かりやすかったです。
- とても分かりやすいスライドと説明でした。日本が二酸化炭素排出量世界第五位に驚きました。解決策だけでなく数値も具体的に出されていて節約を頑張ろうと思いました。自分たち一人一人の行動が少しずつ世界を変えていくと思うので意識した行動をしていきたいと思いました。
- 最初のグループでは自分たちの地元にある志賀高原という素敵な環境に着目して様々なことを調べられている点がとても良いと思いました。次のグループは、自分たちができる身近なところに着目している点がとても良いと思いました。私も実践してみようと思いました。
- 外来種をただ駆除するわけではなく、それを用いた染物体験へとつなげるのはとても良い試みだと思いました。そこに元々生息していた生態系を脅かすため外来種は駆除が必要になりますが、駆除した植物等も何かに活用するなどの工夫がされると、より自然を守るという本来の目的につながるのだろうと発表を通し感じました。
また、二酸化炭素の排出について、私も知らない情報が多くあって勉強になりました。自分たちができ

ることとして、具体的な提案、その結果がきちんと提示されていたのがとても良いと感じました。自分たちでできることを少しでも多く実践することで、より明るい未来を実現できるのだと思います。実際に体験、分析を通し、どう自分たちが考え行動すべきか学びを得られた活動だったのだろうと発表から伝わりました。

- グループ①

とてもきれいに見える志賀高原の自然も、努力してその景観を守ってくれている人がいたこと、いいところに気が付いたなと思う。それを聞いてみんなが次にどんな行動をしていくかを考えることが出来たらさらにいいのかなと思った。

- グループ②

自分たちにできることを考えることだけでなく、それが環境にどんないい影響を及ぼすのかまで考えられていていいなと思った。私も実践していきたい。

- ちゃんと調べてあって、さらに実体験を通し話の構成が分かりやすかった。強いて言うならスライドの文字は「ズバリ言いたいこと」だけを残すようにしたら見やすかった。
- 志賀高原の自然について、外来種をうまく活用していて、ただ駆除するだけでなく染物にするというアイデアはとてもいいなと思いました。また、二酸化炭素を減らすために、大掛かりなことをするのではなく、日常の少しの工夫でもだいぶ減らせることを学びました。
- 志賀高原の魅力を発揮させながら活動を行っている点がとても素晴らしいと思いました！魅力を知ってもらいながらも ESD や SDGs の活動を取り組むことは一石二鳥のような感じがするのでこれからも頑張ってください！！
- スライドの文字数が少なかったため理解しやすいページが多かったです。また、資料を使って説明してくれた（二酸化炭素の排出量など）のでとても説得力がありました。どのグループも現実的で面白い問題に着目し、それに対して具体的な対策方法を考えられていて良かった。私も環境問題解決に向けて何かしていかなければいけないと考えさせられました。
- 外来種のルピナスという植物でハンカチ染めをしたと発表があって、それは自分たちで考えて行ったことなのかが知りたいです。私の住んでいるところの近くに染物屋さんがあって、近くにそのような場所があればコラボみたいなこともできるのかと思いました。
- 大学生顔負けの発表内容、とても驚かされました。リサーチやデータの収集もバッチリで、とても説得力のある内容にまとめあげられていたように感じます。ぜひ今後も活動を続けていき、より良い結果が得られるように応援しています。
- みなさんハキハキと発表していらして素晴らしいと思います。原稿を覚える必要はなく、原稿を見ながら必要な情報を的確に示していただき良かったです。地域 A の方々。インターネットを用いたのであれば出典を示した方がよいと感じました。

- 自然 E グループ:身近な場所でも知らないことが多く、志賀高原での探究はとても興味深いものであり、素晴らしい行動だと感じました。自然には在来種と外来種が共存していて、外来種をただ排除するのではなく、上手く活用されていて良い活動だと感じました。
地域 A グループ:なかなか考えても行動することは難しく、身近なことから始めることでも凄いことだと思います。何が二酸化炭素排出に繋がるのかを調べて、考える姿勢に感心しました。
- 実際にその場に行ってみると気づくことは多いと思います。どのグループもそのことを意識しながら、テーマを設定しようとしていることがよく伝わってきました。特に、普段の生活で何をすればどれくらい節約できるのかがデータとして調べてあげていたことが印象的でした。
- とてもよく考えていましたね、中学生とは思えないとても素晴らしい出来でした。今後こういった探求的な授業は増えてくるかと思います。ですが、今の皆さんなら更にハイレベルな授業ができると信じています。これからも頑張ってくださいね。
- 森林面積の推移と放出酸素量・吸収された二酸化炭素量が年代別に調べた結果緑豊かな山ノ内町の森林面積でも減ってくる傾向にあるということがまとめられていてわかりやすかったです。また二酸化炭素排出量のグラフも見やすくよかったです。
- 志賀高原の自然を守るための取り組みなどについて丁寧にまとめられていました。私自身、何度も志賀高原を訪れたことがあります。動植物など、初めて知ることが沢山ありました。実際に現地に足を運んで調査を行っているため、発表内容にとっても説得力があり、良い発表だと感じました。
- 自然の中での観察だけでなく、観察の際に見つけた植物で一步踏み入った染物体験をしていることを知り、良い体験だと感じた。二酸化炭素に関する発表では、自分たちの町で排出している量と吸収している量を調べたり、自分たちにできることを考えてまとめたりしていて良い学びだと思った。
- ESD の活動を 5 つのジャンルに分けそれぞれグループになって探究したということで、ある話題について徹底して調べることができたのではないかと思います。
自然 E グループの「志賀高原の自然について」では、教室を出て現地に出向き調査や体験を行っている様子がわかりました。探究活動に一生懸命取り組んでいたことがわかったし、体験しないとわからないリアルな現状やそれに対する皆さんの感想が聞けてよかったです。
地域 A グループの「身近な取り組みから二酸化炭素排出量を減らしたい」では、インターネットから必要な情報を吟味し自分たちの地域の現状を分析し、それをわかりやすくまとめていたと思いました。
- 志賀高原の自然について関心を持ち、探求を進めることが素晴らしいと感じました。「外来種」という種の生存を脅かす生き物に着眼点をおき、外来種を用いた活動を行っている点がとても面白く、素晴らしいと感じました。また、どのグループも探求を行うことで、今まで知らなかったことや新たな気づきを得ている姿が印象的でした。新たな発見を通して、自分を成長させることをこれからも繰り返していただきたいです。